

鍼の種類と特徴

鍼灸院で使用する針ですがどんなイメージをお持ちでしょうか？
一般的には注射や縫い針のように「刺す」針をイメージされている方がほとんどかと思います。

鍼にも様々な種類があり、それぞれの体質に合わせた手技があります。



豪鍼 ごうしん



一般的な皮下に刺す鍼です。日本式の鍼は「鍼管」という管の中に入っていて、この管を使うことで施入時の痛みが緩和されます。髪の毛位の非常に細い鍼を主に使っています。

提鍼 ていしん



金、銀、チタン、銅など、様々な種類の金属でできた皮膚に刺さない鍼です。皮膚表面にそっと当てると金属と皮膚の電位差でピリッという感覚が起きる事もあります。

擦過鍼 さっかしん



ヘラのような形をしており、皮膚表面をやさしく撫でる鍼です。ある一定の方法で刺激をすると、脳内血流が増加し、認知機能の改善やストレス緩和、自律神経の安定などに働きかけます。

刺絡鍼 しらくしん



カラダの瘀血（おけつ）を取る鍼です。皮膚から微小な出血をさせ、血の滞りを改善します。

皮内鍼・粒鍼 ひないしん



1mm以下の短い鍼や、小さな粒をテープで貼り付けて使います。治療効果を長続きさせたり、運動時に使います。

火鍼 かしん



熱を入れた鍼で皮膚表面をチョンっと刺激をします。カラダの熱を抜く時に使います。

他にも鍼と電気、鍼と光線、鍼とお灸などを組み合わせたり、鍼以外の物理療法機器を使い、傷めたカラダ、病んだカラダをなんとか正常な方向に導こうと日々奮闘しています。

「今はどんな治療をしているのですか？」お気軽に声をかけてください。

鍼と神経麻痺

今月上旬に「巨人軍・澤村投手への鍼治療により、長胸神経麻痺が生じた恐れがある」というショッキングなニュースが紙面を賑わせました。プロスポーツの世界においては、多くのアスリートが鍼灸治療のメンテナンスを受けており、もはや常識ともいえる普及率です。それだけに、大きな取り上げられ方をされていますが疑問が残ります。

神経はとても強靱な繊維で覆われており、鍼灸で使う細い針が当たっても麻痺を起こす様な傷害は考えにくいからです。我々の業団としても、真相を解明するべく、巨人軍及び、施述にあたったトレーナーに対しての調査が始まっています。

とはいえどんな治療でも、カラダに刺激を与える以上は危険と隣り合わせです。今後も細心の注意を払って丁寧な施述を心がけたいと思います。

